

## □令和6年度スローガン

笑顔あふれる  
「み」みつけよう夢を  
「た」高めよう志へ  
助け合おう友と  
「ち」知恵と  
「や」やる気と  
「ま」真心で

～いつでも・どこでも・だれとでも～

平和学習で紹介された  
被爆者の方の声  
～『原子雲の下に生きて』より～

深堀幸子(当時4歳)

お父さんは、  
会社へ行っていました。  
お母さんは、  
外でようふくをほしていました。  
私は、だいどころに立っていました。  
私はふしぎに下じきにならずに、  
外になげだされていました。  
見ると、黒い雲が、  
ドンドンあっちにいていました。  
となりのお兄さんが走って来て、  
家の下から、二人の弟をほり出しました。  
弟は死んでいました。  
下の弟は、出してからすぐに死にました。  
お母さんも死にました。  
お父さんも帰ってきません。  
私は、一人ぼっちになりました。  
おばあちゃんがとんで来て、  
私をぼうくうごうにつれて行きました。  
そこで、しらぬおじさんから、  
にぎりごはんをもらって食べました  
ちっともおいしくなかったの、  
あまり食べませんでした。  
それから、ひもじくなったので、  
こんどは、おばあちゃんにたのんで、  
にぎりごはんをかってもらって  
食べました。

## 教育週間前半の取組です！

24日(月)から『心を見つめる教育週間』が始まりました。  
この1週間は、命や仲間について考え、自分の心と向き合う機会を多く設けています。  
また、『地域みんなで児童を見守り育てる学校』『地域と共にある学校』をめざし、  
地域の方々とも連携を図りました。  
今日は、教育週間前半の取組についてお知らせします。

### 6/24(月)

#### ○命の講話

教育週間初日には、校長講話を行いました。25年前、私の長女が生まれた前日の、私自身の交通事故の話(死を覚悟するほどの大事故)…。そして、その翌日娘が生まれたときに、へその緒が首に巻き付き生死を彷徨った話をし、それをもとに、「我が子の誕生の時の親の想い」「一人一人の命のかけがえのなさ」を伝えました。そして、その大切な命を脅かすようなことがあっては絶対にいけないということ…。そのためにも、自分の行動に目を向け、自分が今行おうとしている行動が、どんなことに繋がるのかを、しっかり考えて行動してほしいことを、重大な事故に繋がった「椅子引きのイタズラ」を例に出して、子どもたちに伝えました。

#### ○御館山小学校支援会議

同じ月曜日には、『御館山小学校支援会議』を開催しました。会には40人を超える皆様にご出席いただき、子どもたちの様子や今後の学校経営について説明し、ご意見をいただきました。特に今年は、地域と学校の更なる連携をめざし、学校支援の活動を活発化させるための組織づくりについて、話し合い、たくさんのご意見をいただきました。

### 6/25(火)・26(水)

#### ○平和学習

25日(火)は1～3年、26日(水)は4～6年を対象に「平和学習」を行いました。25日(火)には、「被爆体験を語り継ぐ永遠の会」から本村さんと二田さん、26日(水)には長崎平和推進協会から橋本さんにお越しいただき、戦争当時の様子、被爆体験記に綴られた被爆の実相、そして平和への願いを、写真や図、絵本を交えてとてもわかりやすくお伝えいただきました。会が始まる前、「ひばくって何？」と言う子もいたほど、子どもたちは知らないことがまだまだ多い…。平和を考えるには、まずはしっかりと知ること…。そういった意味でも非常に有意義な学習会でした。

## シリーズ『運動会を振り返って』

すみません…。あれやこれやと忙しく学校便りがなかなか定期的に発行できません。運動会の感想の続きも、タイムリーな時期を過ぎてしまいました。しかし、各学年の子どもたちの頑張った思いや達成感は是非お伝えしたいと思いますので、シリーズ『運動会を振り返って』として、連載の形でお伝えしていきます。お楽しみに…(\*^o^\*)さて、前回に引き続き、今回も6年生の感想をご覧ください。

### 最後の運動会

6年3組 里征樹

5月26日、御館山小学校で、運動会がありました。  
ぼくは、栽培委員会だったので、準備係でした。まず、学校に来ると、のんのこの時に使うはっぱや皿などをリュックに入れて、自分や1年生の椅子を運びました。前の6年生や、その前の6年生も同じ事をしてくれていたんだろうと思い、しっかりと運動会を作り上げていこうと思いました。  
プログラムが進み自分たちが出る徒競走の番になりました。結果は4位だったけど、係の仕事をしっかりできたのでよかったです。のんのこでは、今までの練習の成果をしっかりと出せ、大きく踊れたのでよかったです。応援では、北村くんが、しっかりと旗を振って応援していたので、ぼくも頑張ろうと思いました。最後のリレーでは、すごく緊張して心臓がバクバクしました。バトンをもって全力で走りました。一人も抜かせなかったけれど、前に走っていた人に近づけたので、とてもよかったです。バトンを渡すときに、次の人に「よろしく」と言って渡しました。ぼくのチームは、2位でゴールしました。結果発表の時は、友だちとハイタッチして喜び合いました。  
閉会式の結果発表で、赤組が優勝したとわかったときは、すごく嬉しかったです。でも、もし、優勝していなくても、できることを全てやったので悔いは残らなかったと思います。  
集会の時に校長先生がおっしゃった、「競技ではないところでもがんばる」ということ、係などでも達成できたので嬉しかったです。